鎌倉朝日賞に奥村泰子さん
鎌倉写真連盟展

第46回鎌倉写真連盟展が8月中旬、鎌倉芸術館ギャラリーで開かれ、鎌倉を中心に活動する12団体会員の作品約150点が展示された。

大賞の鎌倉市長賞は田代久美子さんの「ステーション」。鎌倉朝日賞は鎌倉在住の奥村泰子さんの「まなざし」で、ラオスの少数民族の部落を訪れた時、孫を抱いてバナナを売っていたおばあさんがとても優しい目で孫をみていたところを捉えたという＝写真。ほか34人が入選。

主な受賞者次のとおり▽鎌倉市長賞＝田代久美子▽市議会議長賞＝吉田浩康▽市商工会議所会頭賞＝俵智子▽市観光協会会長賞＝徳本順一▽市教委賞＝橋本征▽鎌倉朝日賞＝奥村泰子▽鎌倉写真連盟賞＝牧之内貞治・小杉美千代・岩崎茂樹▽審査委員賞＝福岡義夫・志村順子・窪田芳子▽特別連盟賞＝佐田哲男・湯浅克男・根岸春雄・平井靖子▽入選＝有田俊介ほか19人。（敬称略）

応募詠草約150首
第68回実朝祭短歌大会

神奈川県歌人会主催の第68回実朝祭短歌大会が8月9日、鎌倉の鶴岡八幡宮直会殿で開かれ、129人が参加した。歌人・栗木京子さん「時代と向き合う短歌」の講演のあと歌会があり、公募の148首のうち上位18人が受賞した。

鎌倉朝日賞は佐々木三規子さんの「陽ざし浴びかわせみ羽を休めおり間近に見つつ憂さひとつ捨つ」。主な入賞者次のとおり。鶴岡八幡宮賞＝由田欣一（藤沢）▼県知事賞＝井鍋幸子（相模原）▼県歌人会賞＝中村富美子（海老名）▼市長賞＝今福千恵子（横須賀）▼市議会議長賞＝藤田絹子（横浜）▼市教委賞＝木村光男（愛川）▼市観光協会賞＝菊地明代（横浜）▼商工会議所賞＝中井寛治（逗子）▼現代歌人協会実朝祭短歌賞＝近藤栄子（横浜）▼日本歌人クラブ賞＝鈴木光子（藤沢）▼鎌倉朝日賞＝佐々木三規子（鎌倉）、他7賞（敬称略）

新刊書

『小津安二郎 大全』
松浦莞二・宮本明子　編著

生誕115周年を迎えた映画監督小津安二郎。既に研究し尽されていると思われがちだが、この本の編著者で映像作家の松浦さんは、小津が40ミリレンズで撮った映像があることを偶然発見した。ごく初期を除き、「歪みの少ない50ミリレンズばかりで撮影した」という定説は誤りだった。

松浦さんが調査を進めると、鎌倉文学館に撮影記録が残る4作品のうち、「お茶漬の味」「東京物語」「早春」の一部で40ミリレンズが使われ、75ミリレンズでの撮影記録も見つかった。

これをきっかけに、知られざる事実がまだ多くあると考えた松浦さんらは、小津と共に映画の世界を生きた人たちへの取材を重ねた。更に、関係者の論考や貴重な資料を集めて500ページを超える本書をまとめた＝写真。

インタビューには、音楽家の坂本龍一さんや女優の岩下志麻さん、司葉子さんらも登場する。

小津作品のプロデューサーを務めた鎌倉文学館元館長の山内静夫さんは、音楽に強いこだわりはないとされてきた小津が、実は音楽家の黛敏郎さんに「お早よう」の音楽を任せたことなど定説を覆す事実を明らかに。3800円（税別）朝日新聞出版刊☎03・5540・7793

『鎌倉彫　遊心集』
小園博

鎌倉彫の第一人者である小園博さんが、70年近い修業の中で生み出した代表作約100点を収めた作品集が7月に完成した。1957年（昭和32）～2018年（平成30）までの秘蔵作品を含む力作を、制作年代順にカラー写真で見られ、小園さんの俳句が作品ごとに添えられている。

小園さんは創作について「彫りの躍動感、漆の深い色、侘び寂、古くて新しい文様、文様の中の時間性、絵画風の構成の中の叙情性、現代の暮らしの中で使える『もの』としての鎌倉彫を創ってゆくことに至福感を持っている」と語る。

初公開となる力作も多く収録した「鎌倉彫　遊心集」

広く伝統工芸の発展に尽力し、勲六等瑞宝章などを受けた。87歳となった現在は病床に臥しているが、長男で鎌倉彫伝統工芸士の敏樹さんが作品集をまとめあげた。

敏樹さんは「父の作風は真面目で遊びが少ないように思えるかもしれないが、よく見ると長年続ける俳句の影響なのか、叙情感溢れる作品に仕上がっている」と話す。

作品集については「明らかにしていなかった漆塗りの技法も記しています。後世の職人たちの貴重な資料になると思います」としている。

4500円（税別）。購入は鎌倉彫工芸館か、青樹庵工房FAX0467・67・7251

SDGs（持続可能な開発目標）みらい都市宣言をした鎌倉に本拠地をおく「SDGs活動支援センター」（小島政行理事長）は、市民やNPOなどの諸団体が、その活動を広げて活性化し、持続可能な発展に寄与するのを支援する活動に取り組んでいる。

これまで鎌倉ユネスコ協会主催「SDGsみらい塾」への協賛、公開討論会や「アースデイ鎌倉」などの催しを開催してきた。活動を継続し、新たな展開をするために会員を募集している。

年会費は、個人・NPO3000円、法人一口1万円。

募集

SDGs活動会員 & フォトコンテスト

鎌倉朝日も会員登録しています。申込・問合せ同センター☎0467・53・9309

【SDGsフォトコンテスト】日々の暮らしの中でSDGsにつながる行動のきっかけとなるような写真を募集。

データサイズは1・5MB以下、ファイル形式はJPEG。9月30日締切。優秀作品は11月のかまくら市民活動フェスティバル会場で展示・表彰。応募先はSDGsフォトコンテスト事務局 photos@sdgs.or.jp

申込・問合せNPOセンター鎌倉☎0467・60・4555

文学つれづれ ⑰⑥
吉川英治『宮本武蔵』(三)

赤羽根龍夫

吉川武蔵が旅立ちでつぶやく「21歳おそくはない」は、武蔵著『五輪書』の冒頭で、我は13歳と16歳で勝負した後「三十一歳にして都へ上がり」と書いている事実からきている。その後、武蔵は「天下の兵法者に会い、勝負を決すといえども勝利を得ざるという事なし」と続ける。

もちろん吉川英治の『宮本武蔵』は小説であり事実である必要はない。しかしお通、又八、お杉婆は創作だと分かっていても、武蔵その人は実際の武蔵自身と思い込んでいる場合が多い。それでは日本人の歴史の中に偉大な足跡を残している武蔵の業績を見誤る恐れがある。そこで真実の武蔵の実像を示しておくことは、吉川武蔵のユニークさを探るためにも意味があると思われる。

武蔵についての多くの事績は後世の弟子が書いた『三天記』を根本史料として書かれている。

武蔵が親を早くなくした野生児であったことをはじめ武芸者との試合内容、養子となったドジョウ伊織の話など多くは「三天記」によっている。そして吉川武蔵の国民的な人気によって吉川武蔵が実際の武蔵であるかのように信じられている場合が多い。しかしその後多くの事実があきらかになった。そこで私は実際の武蔵の実像をここに提示したい。

宮本武蔵は明智光秀が本能寺の変で死んだ1582年（天正10）、播磨（兵庫県）の名門である赤松一族の末裔、田原家貞の二男として生まれた。田原家は播磨合戦で秀吉に敗れ農民階級に落されることになったので、武士としての血筋を残す為武蔵を同じ赤松一族であるが秀吉に味方した宮本無二の養子とした。

元祖新免辨之助（椿椿山画）＝13歳の武蔵が初対決した有馬喜兵衛を打ち破ったときの肖像

宮本無二はなかなかの武芸者であった。播磨合戦では片手に十文字の鎗をもって敵七人を倒し、また京では足利家の兵法師範・吉岡憲法との試合に勝ち、将軍義昭から「日下（日本）無双兵術者」の号を賜わっている。

無二は武蔵の幼少の時から家伝の兵法「当理流」の英才教育を施している。後に武蔵の養子・宮本伊織が武蔵顕彰の為に建てた『小倉碑文』によると武蔵は投げ剣に百発百中の才能を示した。

13歳と16歳の時の決闘は、無二に申し込まれた決闘を、「武蔵なら勝てるという」確信のもと無二に代わって行った試合だと思われる。『五輪書』は「年十三より二十八、九まで」六十余度の試合に勝ったと言いながら、具体的には13歳と16歳の試合の事しか書いていない。投げ剣の名人となっていたら13歳の子供でも大人の兵法者に勝つこともできる。

その後、19歳で関ケ原の戦いに新免家の一員として宇喜多秀家の西軍に加わり敗れている。

新免家は関ケ原に敗れた後、かつての家来筋で今は徳川方の大大名になっている九州の黒田長政を頼った。主だった家臣は召し抱えられたが、武蔵の居場所はなかった。

21歳の時に京へ向かったのは養父を超えた日本一の兵法者に成るためであった。

吉川武蔵では旅に出た後、山で修行した武蔵は、自分の実力を試そうと吉岡道場に試合を申し込み門人の多くに打ち勝つ。騙し討しようと計画する門人の企みを察知した武蔵は、一旦は吉岡道場から身をくらまし、一年後に吉岡道場の当主・吉岡清十郎と決闘をしたいと手紙を送り武者修行の旅に出る。

実際の武蔵は京に出た後、修行のかたわら二年ほど京で弟子をとったようである。京の生活に慣れ土地勘を得た2年後、吉岡清十郎に試合を申し込んだ。室町幕府の兵法師範であった名門吉岡家は無名の青年武蔵からの決闘の申し込みを断らなかった。吉岡憲法が無二に負けた雪辱を晴らせると思ったに違いない。

（神奈川歯科大名誉教授）

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電 話(0467)25-2100(代表)

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ 茅木家
☎（22）1460

“やまと豚　とんかつ弁当　1000円”
やまと豚は、ビタミンB1が多く含まれていて、糖質を分解してエネルギーに変えると言われています。そこから、疲労回復のビタミンとも呼ばれます。バニーのとんかつ弁当で、この暑さに負けない！！！
手づくり弁当 バニー
ご注文はこちら TEL:0467-22-1188
鎌倉市材木座6-5-26 年中無休
平日11:00~14:00 土日祝 8:00~14:00

鉢の木
お弁当のお届けや出張料理もございます。
新館　北鎌倉店　23-3723（代表）
www.hachinoki.co.jp　www.konrei.net